

投稿規定

1. 「靴の医学」(Journal of the Japanese Society for Medical Study of Footwear)に掲載する論文の著者・共著者は、全て日本靴医学会会員に限る。ただし、本学会が依頼ないしは許可した場合は、この限りでない。
 2. 論文は未発表のものに限る。
 3. 投稿原稿は、別に定める細則に従い作製し、定められた締切日までに、定められた場所に送る。投稿締め切り日は厳守する。
 4. 投稿は原著論文と、それ以外の寄稿に分ける。原著論文は科学論文としての正当性と再現性を要する。原著論文の原稿は下記の形式と順序に従い執筆する。
 - 1) 表紙には下記の事項を記載する
 - a) 表題名(英文併記)
 - b) 著者・共著者(5名以内)(英文併記)
 - c) 著者・共著者の所属機関(英文併記)
 - d) 著者の連絡先住所、電話番号、Fax番号、E-mailアドレス
 - 2) 論文要旨(300字以内※スペースを含めない) キーワード(5個以内、英文併記)
 - 3) 本文は下記の事項を記載する
 - a) 緒言
 - b) 対象と方法
 - c) 結果
 - d) 考察
 - e) 結語
 - 4) 文献は10編以内とし、特殊な報告書や投稿中原稿など、一般的に入手不可能な資料は文献としての引用を差し控える。文献は本文での引用順位に番号を付け配列する。本文中では上付きの番号を付けて引用する。4名を超える著者は「他」, “et al.”を添え、省略する。雑誌名の省略は、和文では雑誌に表示された略称、欧文雑誌ではIndex Medicusの略称に従う。文献の記載法を次に記す。
 - a) 雑誌は、著者名(姓を先)・表題名・雑誌名・西暦発行年・巻・最初の頁—最後の頁。
Justy M, Bragdon CR, Lee K, et al. Surface damage to cobalt-chrome femoral head prostheses. J Bone Joint Surg Br 1994; 76: 73—7. 石塚忠雄. 新しい老人靴の開発について. 靴の医学 1990; 3: 20—5.
 - b) 単行本は、著者名(姓を先)・表題・書名・版・編者・発行地・発行者(社)・発行年・引用部の最初頁—最後頁。
Ganong WF. Review of medical physiology. 6th ed. Tokyo: Lange Medical Publications; 1973. 18—31. Maquet P. Osteotomies of the proximal femur. In: Osteoarthritis in the young adult hip. Reynolds D, Freeman M, editors. Edinburgh: Churchill Livingstone; 1989. 63—81.
- 寺山和雄. 頸椎後縦靱帯骨化. 新臨床外科全書17巻1. 伊丹康人編. 東京: 金原出版

1978.191—222.

- c) ウェブページは、著者名（姓を先）. Webページの題名. Webサイト名. 入手先URL（アクセス日）を記載し、doi（digital object identifier）がある場合は、入手先URL（アクセス日）の代わりに記載する.
- 5) 図・表説明は、理解に必要十分で、簡潔かつ本文と重複しない.
- 6) 図・表を細則に従い作製し、図・表の挿入個所は本文中に指定する. 図・表は個人が特定できないものとする.
5. ヒトを対象とした研究では、ヘルシンキ宣言ならびに文部科学省・厚生労働省・経済産業省「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守し、当該施設の倫理委員会の承認を得て行う. また承認した倫理審査委員会の名称および承認年月日を本文中（対象と方法）に記載する.
6. 原稿は和文、常用漢字、新かな使いとし、簡潔であることを要する. 学術用語は「医学用語辞典（日本医学会編）」「整形外科学用語集（日本整形外科学会編）」「足の外科学用語集（日本足の外科学会編）」に従う.
論文中の固有名詞は原語、数字は算用数字、度量衡単位はSI単位系を用いる. 日本語化した外国語はカタカナで、欧米人名はアルファベットで記載する. 英語は文頭の一字のみを大文字で記載する. 商品名・会社名などの記載は、再現の為に必然性のある場合のみとし、単なる宣伝や商行為と思われる場合はこれを禁止する.
7. 原稿は初回投稿時、製本時組み上がり4頁以内（本文＋図表で5,600文字以内※スペースを含めない）を原則とする. 図・表は1点あたり400字換算とし、400字詰原稿用紙でほぼ14枚以内となる. なお査読審査中、査読者からの指示に対応する形で文字数が超過する場合は、この限りでない.
8. 原稿は査読の後、編集委員会で掲載を決定する. 編集委員会は、内容について、修正を要するものや疑義あるものは、コメントを付けて書き直し求める. また、編集委員会は、著者に断ることなく、不適切な用語・字句・表現などを修正または削除することがある.
9. 日本靴医学会学術集会で発表し、かつ規定期間内に投稿した論文の掲載料は、規定の頁数までを無料とする. それ以外の投稿の掲載料は、有料とする. また、別刷り、超過分、カラー印刷、特別に要した費用に関しては全て自己負担とする. ただし、本学会が依頼または許可した場合は、この限りでない.
10. 原稿は、原則、返却しない.
11. 「靴の医学」掲載論文の著作権は日本靴医学会に帰属する. なお「靴の医学」への投稿または出版済の原稿を、大学や研究機関等の機関リポジトリへの掲載を希望する場合は、編集部まで届け出ること. 編集委員会にて掲載の可否を検討する.

付則 本規定は令和7年11月1日から適用する. この規定の変更には、理事会、評議員会の承認を要する.

「靴の医学」投稿規定細則

1. 日本靴医学会学術集会で発表した論文は、指定された期日までに投稿する。それ以外の投稿は随時受付ける。

2. 原稿はメール、または郵送にて下記に送付する。郵送の場合は原稿データをCD-Rに焼き、プリントしたハードコピー（図表も含む）を1部添えること。

日本靴医学会「靴の医学」編集部

〒114-0024 東京都北区西ヶ原3-46-10（株）杏林舎内

FAX :03-3910-4380

E-mail: kutsuigaku@kyorinmail.jp

3. 全てのファイルは、一般に用いられている文章、図・写真、表などの作成ソフトで作成した形式とする。特殊な形式については、編集部から一般的な形式への変換を依頼する場合がある。

4. 原稿の文章は、kutsu_xxxx.doc（xxxxは著者名の小文字アルファベット）のワード・ファイル（拡張子doc）として保存する。また、同じ文章をkutsu_xxxx.txtのテキストファイル（拡張子txt）としても保存する。

5. 写真は画質が著しく劣化するので、オリジナルの画像ファイルから作製し、発表時のパワーポイントの写真を流用しない。

画像ファイルの形式は、TIFF（*.tif）が望ましい。ファイル名はkutsu_xxxx_fig_n.tif（nは図の番号、枝番はa, b, c・・・を後に付ける）とする。デジカメでよく利用されるJPEG（*.jpg）形式の画像ファイルは、保存を繰り返すたびに画質が劣化するので、JPEGを利用するには、保存時、必ず高画質、低（無）圧縮を選択する。解像度は、掲載希望サイズの実寸で300dpi（1インチ当たり300ドット）以上を厳守する。前述の説明が不明の場合は、デジカメで撮影したオリジナルのファイルを添付し、希望サイズを明記する。「靴の医学」はB5サイズ2段組なので、幅140mmで横1枚、70mmで横2枚の図がおさまる。

図のサイズ、解像度、上下左右、白黒かカラー（自己負担）かはファイルの通りとするので、プリントしたハードコピーで読者が判読できることを十分確認する。組写真は必然性のあるものに限り、事前に1枚の写真に合成して提出する。

6. グラフは発表時のパワーポイントのグラフを流用しない。Excelなど、グラフを作製したプログラムで作成されるファイルを投稿する。写真と同様、希望のサイズにプリントし、読者が判読できる事を確認する。ファイル名はkutsu_xxxx_fig_n.xls（Excelの場合、nは図の番号）とする。

7. 表は発表時のパワーポイントの表を流用しない。Excelなど、表を作製したプログラムで作成されるファイルを投稿する。写真と同様、希望のサイズにプリントし、読者が判読できる事を確認する。ファイル名はkutsu_xxxx_tab_n.xls（Excelの場合、nは表の番号）とする。

8. 表紙と同じ情報と、原稿の本文、写真、図、表に使用したアプリケーション（プログラ

ム) 名とそのバージョン番号を、テキストとしてread_XXXX.txtのファイルに保存する。

9. 郵送の場合、原稿の文章、写真、図、表、read_XXXX.txtを、印刷し貼付する。カラー印刷を希望する場合は、カラーの見本プリントを同封し、カラー印刷を希望する旨を明記する。

10. 郵送の場合、CDの表面に「靴の医学」、著者名、投稿年月日、e-mailアドレスを明記する。

付則 本細則は令和7年11月1日から適用する。本細則の変更は、理事会、評議員会へ報告する。